

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 1017

所管部局	土木建築部	所管課	都市計画課	担当者名	船越 正一
事業名	土地地区画整理事業			事業分類	ハード事業
細事業名	本町土地地区画整理事業			政策体系	363
会計	一般会計	科目	8.土木 - 4.都市 - 2.土地		

## 1. 事業の概要

既存商店街の集約・再編、都心居住の促進、公益機能を持つ施設整備のための用地整備を事業の柱とし、あわせて都市計画街路、国道9号の整備を図る。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

南丹市の中心市街地の拠点性を高め、多様な市民ニーズに対応する公共公益性の高い市街地形成を図る。

### ②事業を実施する必要性

近郊都市の商業環境の向上、交通環境や車社会の進展により、商業をはじめとする都市を取り巻く環境の変化に対応することなく、求心性の低下が進むなかで中心市街地の整備改善を図り、中心市街地の再生を図るため、土地地区画整理事業を実施。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	472,002	523,748	396,039	418,400	270,195	60,050	0
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	4,900	3,565	1,200	1,800	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	69,800	0	0
	国・府支出金	千円	177,500	94,600	41,500	35,000	10,000	0
	地方債	千円	254,700	351,900	281,700	313,600	224,640	54,000
	一般財源	千円	39,802	77,248	72,839	0	35,555	6,050
職員等の従事人員	人/年	—	—	—	2.50			
人件費	千円	—	—	—	15,403			
事業費総額	千円	—	—	—	432,003			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。

※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

※平成21年度の繰越分 136,000千円 主な繰越事業費の内訳 工事6,377千円 負担金10,093千円 移転補償115,568千円

## 4. 主な事業費の内訳

工事	24,662,550円（工事請負費）
負担金	10,092,600円（下水工事）
移転補償	376,628,146円（補償、補填及び賠償金）

## 5. 事業結果の概要

建物等の補償交渉や、建物解体後の面整備が実施できた。

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 整備事業		
中心市街地の再生を図るため、土地区画整理事業を実施し既存商店街の集約・再編、都心居住の促進、公益機能を持つ施設整備のための用地整備を事業の柱として、併せて都市計画街路、国道9号の整備を図り、南丹市の中心市街地の拠点性を高め、多様な市民ニーズに対応する公共公益性の高い市街地形成を図るため23年度完了に向け事業を推進した。	建物等の補償交渉、移転後の面整備を昨年を引き続き今年度も実施した。	総事業費 4,210,000千円 事業期間 平成14年度～23年度 進捗率 約75%

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

1. 前年度から改善した点  
特になし
2. 今後の展開  
平成23年度ハード事業完了にむけ事業に取り組み、その後はソフト事業の展開により市街地に賑わいを取り戻す。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
市街地再整備を行なうに市街地の活性化について議論する。
- ②当該事業のアピール事項  
市街地再整備を実施することにより、街路事業等一体的な面整備が実施され良好な市街地が形成された。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
市街地のハード事業の完了に伴い、今後はソフト事業を展開し市街地に賑わい取り戻すことが必要